



# 2023年度 ミクロネシア諸島 自然体験交流事業

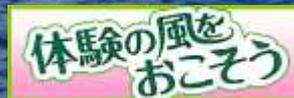
実施報告



主催:独立行政法人国立青少年教育振興機構

後援:外務省・文部科学省・マーシャル諸島共和国

ミクロネシア連邦・パラオ共和国



National Institution For Youth Education  
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

令和5年12月発行

# 受入事業

## ■事業の目的

日本とマイクロネシア諸島の国々の青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成することを目的としています。

## ■日程

令和5年6月27日(火)～7月7日(金) 10泊11日

## ■招聘参加者(10歳～14歳)、随行者

マーシャル諸島共和国.....参加者12名 随行者 2名 計14名  
 ミクロネシア連邦.....参加者24名 随行者 4名 計28名  
 パラオ共和国.....参加者 6名 随行者 1名 計 7名  
 合計.....参加者42名 随行者 7名 計49名

## ■日本人参加者

令和5年6月29日(木)

近隣の中学生(渋谷区立松濤中学校の全校生徒).....290名

日付	活動内容
6月28日	日本到着 ① オリエンテーション
6月29日	松濤中学校訪問 ② 歓迎レセプション ③
6月30日	国会議事堂見学 ④ 各国大使館訪問 ⑤
7月1日～2日	週末プログラム (日本の子供たちと交流)
7月3日	-東京都消防庁本所 都民防災教育センター ⑥ -東京スカイツリー ⑦ -日本科学未来館 ⑧
7月4日	日本出国



①グアム島を経由して、各島から日本へ到着しました。



②渋谷区立松濤中学校の全校生徒と交流しました。



②中学校では、参加者と生徒



③歓迎レセプションでは、各国大使、議連の議員ご臨席の舞台上、各国の踊りを披露しました。



④国会議事堂見学



⑤駐日マイクロネシア連邦大使館では、大使・大使夫人とアットホームな懇談会を楽しみました。



⑥東京消防庁の都民防災教育センターで、大規模地震の疑似体験や暴風災害の防災について学習しました。



⑦東京スカイツリー見学



⑧日本科学未来館で、宇宙やロボット等に関する最新の科学技術に触れました。

# 週末 プログラム

## ■事業の目的

日本とミクロネシア諸島の国々の青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成することを目的としています。

## ■日程

令和5年7月1日(土)～7月2日(日) 1泊2日

## ■招聘参加者(10歳～14歳)、随行者

マーシャル諸島共和国	参加者12名	随行者 2名	計14名
ミクロネシア連邦	参加者24名	随行者 4名	計28名
パラオ共和国	参加者 6名	随行者 1名	計7名
合計	参加者42名	随行者 7名	計49名

## ■日本人参加者

小学5年生～中学2年生(公募)	40名
大学生ボランティア	15名

日付	活動内容		
7月1日	開会セレモニー ① アイスブレイク ② グループ対抗運動会 ③ 野外炊事 ④ (流しそうめん・かき氷)		
7月2日	日本の文化体験 ⑤ お別れ会	①新しい友達との出会いの開会 セレモニー。リラックスムードで始 まりました。	②学生ボランティアと一緒に簡単 なゲームでアイスブレイク。 一気にうちつけていきます。



③グループ対抗運動会。網引きや、玉転がし、玉転がしリレー、二人三脚などを実施。

週末プログラム参加者・大学生ボランティア・スタッフ全員で記念撮影。



## ④ 流しそうめんとかき氷

ミクロの子どもたちにとっては、初めての食べ物。日本の子供と流れてくるそうめんをすくって、おいしくいただきました。デザートにはかき氷で、お腹いっぱいになりました。

## ⑤ 日本の文化体験

駒や、風車、おりがみの鶴を一緒に制作。ミクロの子どもたちも、日本人の友達に教えてもらって上手につくることができました。遊び方も教わって、一緒に駒を回したり、風車を回して遊びました。

## ■週末プログラム日本人参加者の声

- 初めてミクロネシアの友達ことができました。来年派遣プログラムがあるのなら、自分もミクロネシアへ行ってみたいと思いました。
- 自分の英語が通じるか、ちょっと心配でしたが、何とかわかってくれて嬉しかったです。もう少しうまく話せればよかったし、もっと、英語を話せるように頑張りたいです。
- 一緒にグループの子といっぱい話して一緒にゲームをして楽しかったです。別れるときに、ミクロの子から日本の友達が帰ってしまうので、悲しいと言われてうれしかったです。またミクロの友達に会いたいと思います。
- ミクロの子たちと一緒に流しそうめんやかき氷を食べて楽しかったです。もう少し一緒にいたかったけど、英語も通じて、良かったです。ミクロネシアでも島によって違いがあると聞きました。島に行ってみてみたいです。

## ■当年度までの参加者総数

受入 1,225名    →  派遣 1,867名  →   

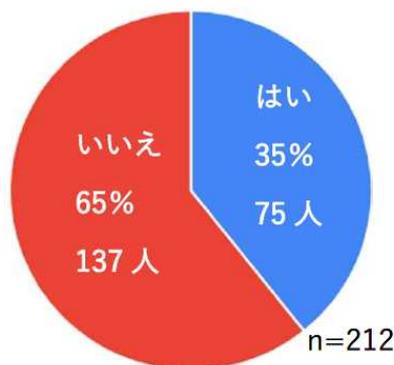
2002～2019・2023	マーシャル	ミクロネシア				パラオ	合計	子供の参加者総数	
		ポンペイ	チューク	ヤップ	コスラエ				
受入	子ども	224	201	204	203	190	203	1,225	1,225
	随行	42	38	38	38	35	38	229	
	小計	266	239	242	241	225	241	1,454	
派遣	子ども	247	317	327	253	201	522	1,867	1,867
	随行	115	105	123	73	65	171	652	
	小計	364	423	451	326	266	697	2,527	
合計	616	655	686	560	484	931	3,920	3,050	

※サブリーダーは、随行者に含む。  
 ※2020～2022年度は新型コロナウイルスの影響により、受入・派遣とも実施なし。2023年度は受入のみ実施。

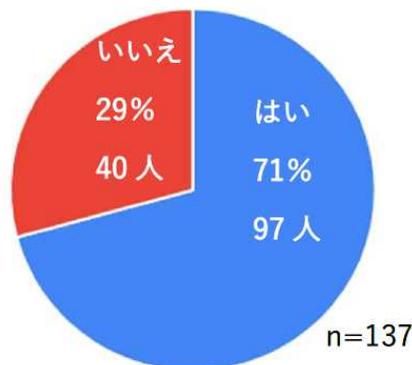
## ミクロネシア事業の参加経験者は、海外留学に対して積極的です。

参加経験者の35%が、「海外留学をしたことがあるか。または、する予定があるか。」の質問に対して「はい」と回答しており、日本人留学生(大学生)の割合1.63%\*を大きく上回っています。  
 また、「いいえ」と回答した参加経験者のうち、71%が「今後海外留学をしてみたい」と回答しています。

海外留学をしたことがあるか  
 または、する予定があるか



今後留学してみたいと思うか



出典:ミクロネシア事業諸島自然体験交流事業 日本人参加経験者に係るフォローアップ(令和3年3月)

\*日本人大学生全体の留学生の割合は、下記のデータにより算出。

- ① 日本から海外への留学生数(令和2年度):42,709名(「ユネスコ統計局、OECD、IIE等における統計」令和5年5月文部科学省発表)
- ② 大学在籍日本人学生数(令和2年度):2,623,572名(「令和2年度学校基本調査」令和5年5月文部科学省発表)